

発行責任者 歯科病院長 川和忠治  
編集責任者 広報委員長 佐藤裕二  
本号担当 広報委員 羽鳥仁志

〒145-8515 東京都大田区北千束2-1-1 TEL 03-3787-1151  
ホームページ：<http://www.senzoku.showa-u.ac.jp/>

## 総合内科のご案内

総合内科科長 井上 紳

(昭和大学医学部卒、循環器専門医、内科認定医)



井上 紳科長 田中昭彦医師

本年4月より歯科病院1階に総合内科が新設されました。歯科診療中の患者さんや入院中の患者さんを歯科の先生方の依頼により診察させていただきます。また午前中は一般の患者さんも診察します。

科長の井上は高血圧や心臓病、田中助手は喘息など呼吸器疾患を専門分野にしています。不整脈疾患は24時間ホルター心電図、狭心症など虚血性心疾患は運動負荷心電図を行います。また最近話題の睡眠時無呼吸症候群につきましては田中助手が簡易アプノモニター等を用いて診断しますのでご相談ください。

その他の病気につきましては昭和大学病院(本院)と連携して患者さんの病態に適した科を紹介させていただきます。

一般的な傾向として残存歯の少ないほど「生活習慣病」と呼ばれる高血圧や糖尿病が多いことが知られています。歯周病は動脈硬化に悪影響を与えることが報告されていますし、噛み合わせがうまくいかないと不整脈など自律神経に影響することも指摘されています。これは咀嚼(そしゃく)が生命活動で一番重要な「食生活」の中心を占めているためと考えられます。食生活の乱れや偏り(かたより)は「生活習慣病」の原因の大部分を占めていますが、例えば高血圧では塩分の取りすぎ、糖尿病、高脂血症は食べ過ぎと運動不足が問題になります。生活習慣病を放置しておくると全身の臓器障害(心臓病、腎臓病、脳梗塞や認知症)に進んでしまいます。

当科では「食」のありかたについて歯科の先生方と歩調を合わせて検討し、診察や検査で全身への影響を評価したいと考えています。また塩分の取りすぎや太りすぎなど食生活に偏りが見られる場合は、将来的には栄養士の先生にも参加していただき、改善に向かって患者さんとともに努力したいと考えております。よろしくごお願い致します。

初診受付	午前 8:30-11:30	☎ 03(3787)1151(内線 375)
診療時間	午前(9:00~12:00)	午後(予約制 14:00~17:00)
月曜日	井上	回診(井上・田中)
火曜日	田中	井上(循環器外来)
水曜日	井上	講義・会議(井上)
木曜日	井上	田中(呼吸器外来)
金曜日	田中	田中(呼吸器外来)
土曜日	田中 (1,3,5週)	

\*学会等で休診の場合がありますので、お手数ですが予約外で受診される方は予め内科外来までお電話をいただくとより確実かと存じます。

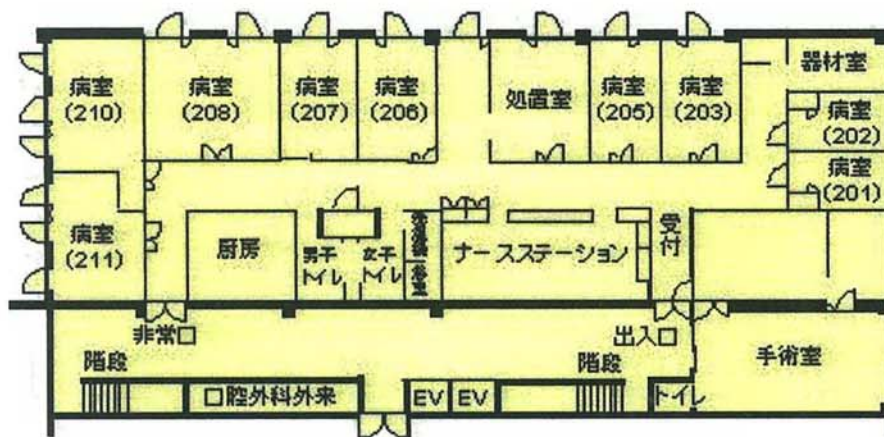


## 入院患者様からの声

昭和大学歯科病院では2階に30床の入院病棟があります。厳重な監視体制が必要な方の一般歯科治療をはじめ、顎口腔領域の奇形、変形症、炎症、外傷、嚢胞、腫瘍など様々な疾患を持つ患者様に、質の高い医療と快適な入院生活を提供させていただけるよう、スタッフ一同努力しております。

今回の歯科病院だよりでは、退院の際にお願いしているアンケートの中から患者様の声をいくつかご紹介させていただきます。

ご意見・ご要望	内容・改善等
予定表や説明がわかりやすかった。	当病院ではある程度入院日程の予想ができる患者様（顎変形症、嚢胞など）に対しては、「入院生活の予定表」をお配りしています。また、入院された時点ですべての患者様に詳細な入院診療計画書を作成し、お渡ししております。実際には病気の状態によって違いが生じることもありますが、「目安が立てやすく、支えになった。」とのご意見を多数いただきました。今後も資料の充実に加え、わかりやすい説明を心がけて参ります。
病室の洗面台に石けんを設置してほしい。	衛生管理上の問題から固形石鹸の設置は困難であり、これまではお持ちいただくようご案内させていただいておりました。今後は清潔に使用できる液体石鹸の設置が可能かどうか、関係部署とも検討させていただきます。
入院生活中の運動不足解消のためのスペースがない。	当病院には相談室や面会スペースなども不足しており、ご不便をおかけしております。現在、病棟の改修案を検討中であり、より快適に入院生活を過ごしていただけるよう協議を重ねて参ります。



また、外来通院の患者様からも以下のご意見を頂戴いたしました。

## 患者様からのご意見・ご要望

ご意見・ご要望	内容・改善等
放射線科受付での対応が威圧的である。	ご指摘を深く受け止め反省し、受付業務の改善を致しました。また、業務の多忙さに押し流されない患者様対応を心がけます。
放射線科技師の態度について苦情をいただきました。	患者様にご不快な思いを抱かせない技術と接遇態度の向上に努めます。ご迷惑をおかけしました事を深くお詫び申し上げます。